



▲絵が見やすいように読み聞かせをする青柳さん

ふくおか都市圏Kidsジョブチャレンジin宗像・福津 本の世界の楽しさを伝える体験

福津・宗像市内各所でさまざまな職業体験ができる「ふくおか都市圏 Kidsジョブチャレンジ2023」が8月26日、8月27日に開催されました。8月26日の午前中には、市立図書館にて「図書館司書の仕事～読み聞かせにチャレンジ！～」が開催され、4人の子どもたちが、絵本の読み聞かせの仕事に挑戦しました。最初に読み聞かせの仕方を司書から教わり、2人1組で読み聞かせの練習をして、いざ本番へ。絵本がみんなによく見えるようにしていた青柳心遥さんは、読み聞かせが終わった後に「楽しかった」と話していました。



▲石と石の間に隠れたカニやエビを一生懸命探す参加者

海の生き物博士になろう！ 夏の思い出に浅瀬を探検

津屋崎地域郷づくり推進協議会が主催する「海の生き物博士になろう！」が7月31日に津屋崎ヨットハーバー付近の浅瀬で開催されました。

参加した家族は、県立水産高校の生徒と一緒に、網やバケツを使って生き物を誘導しながら、カニやエビ、小さな魚などを捕まえるのを楽しんでいました。また、海の生き物に詳しい市職員から、捕まえた生き物の詳しい解説があると、普段あまり見ることのない生き物に子どもたちは興味津々。予定時刻を過ぎても、まだずっと見ていたいと言わんばかりに生き物を見つめていました。

ふくつビーチサッカーフェスティバル2023 全力で楽しむ夏、福津の砂浜で

「ふくつビーチサッカーフェスティバル2023」が、8月19日と20日の2日間、津屋崎海水浴場で行われました。平成11年に津屋崎町主催のイベントとして始まり、今年で23回目を迎える福津の夏に欠かせないイベントです。開会式の前に参加者全員で海岸清掃をするなど地球環境保護の啓発活動も同時に行いました。

原崎市長のホイッスルで試合は始まり、各チームが熱戦を繰り広げました。参加者は真剣な表情と時折笑顔を見せ、砂浜の上で全力で競技を行っていました。



▲激しい攻防の中でシュートを放つ選手

津屋崎の塩田文化 頭と舌で「塩」を学ぶ

津屋崎地区は、かつて海上交易と塩田で栄えていました。その文化や歴史を学ぶ機会として藍の家保存会が主催する「津屋崎の塩田文化」が、8月11日、カメラアホールで開催されました。

参加した小学生とその保護者は、津屋崎の海水から塩づくりをしたり、塩づくりの際に出る「にがり」を使って豆腐づくりをしたりしました。最後は、出来上がった塩を白米につけて食べ、おにぎりを作るなど、それぞれが「塩」を舌で感じるとともに、津屋崎に「塩」の文化と歴史があったことを学んでいました。



▲おいしそうに白米を頬張る花田喜都さん



篠崎 基希ちゃん 福岡
山 叶翔ちゃん 宮崎
松本 風巻ちゃん 南
武元 優真ちゃん 福岡

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限りません。データの持ち込みは受け付けられません。

毎号先着24人で、12月生まれの赤ちゃんは10月20日(金)が受付期限です。
受付、問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとぴあ) ☎35・8382
休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日
▶写真申込フォーム



津屋崎千軒民俗館藍の家「戦時中の暮らし」展 生きている記憶を次世代に

「戦時中の暮らし」と題した展示会が、藍の家で8月5日から8月20日まで行われました。戦時中、福津市に住んでいた人の話や戦地からの手紙など、当時の様子が分かるさまざまな資料などが展示されました。戦時中の地元のことに触れられる、貴重な機会になりました。



▲手紙や新聞、写真などの戦時中の貴重な資料を展示

新設小学校基本設計ワークショップ 約半世紀ぶりの小学校建設に向けて

宮司地区に建設準備中の新設小学校の第1回地域ワークショップを8月21日に開催。関連する郷づくりや自治会、小・中学校の教員やPTA、公募の総勢29人が参加。参加者は班に分かれ話し合い、前向きな意見やアイデアを発表してくれました。



▲新設小学校への期待や思いを話し合う参加者